

事務事業評価

令和 5 年度

		担当課		商工振興課				
基本事項	事務事業名	サテライトオフィス等開設支援事業				整理番号	1602	
	根拠法令等	島原市サテライトオフィス等開設支援事業補助金交付要綱			実施を義務付ける規定	○あり ●なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標 3 賑わいと活力を興すまちづくり	予算科目	7 款 1 項 2 目	●継続 ○新規		
		施策	施策3-5 新たな活力を育むまち	事業区分	助成・育成			
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、多くの企業でリモートワークの導入やBCP(事業継続計画)の観点からサテライトオフィスを活用するなど、働く場所の多様化が進むなかにおいて、アフターコロナの新しい働き方を実現するため。				計画期間	始期 令和 3 年度から 終期 令和 6 年度まで	
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	島原市内に新たにサテライトオフィスを開設し、他企業がサテライトオフィスやワーキングスペースとして利用できる部屋を一つ以上用意し、運営する者であり、サテライトオフィスの開設後、そのサテライトオフィスにおける業務を5年以上継続し、かつ操業開始した日から2年以内に、島原市内に住民票のある新規正規雇用者を1人以上雇用することすることが見込まれる者が行うサテライトオフィスの開設に対して支援を行い、本市におけるテレワークなどの環境を整備することを目的とする。						
	目的達成のための 具体的手段・方法	①サテライトオフィス等開設経費補助: サテライトオフィス等の開設に要する経費に対する補助、上限276万円、補助率4/5 ②事務機器等リース料及び通信回線使用料補助: リース料及び回線使用料を補助、上限1月あたり2万円、補助率4/5 ③不動産の賃貸料補助: 運営するサテライトオフィス等の不動産の賃貸料、上限1月あたり5万円、補助率4/5 ④県外企業進出支援金: 開設されたサテライトオフィスへの県外企業の本市進出に対する支援金、1件当たり100万円						
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名 称 等 (内 容)		単位	3 年度	4 年度	5 年度	
		①サテライトオフィス等の開設件数	目標	件	1	1	1	
			実績	件	1	0	0	
			達成率	%	100.0	0.0	0.0	
②県外企業の進出件数		目標	件	1	1	1		
		実績	件	0	1	0		
	達成率	%	0.0	100.0	0.0			
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①域内への周知(施設の開設、開設した施設の利用等)		目標	回	1	1	1	
			実績	回	1	1	2	
	②都市圏企業への周知活動 (開設した施設の利用、域内への進出、施設の開設等)		目標	回	1	1	1	
			実績	回	1	2	2	
事業費等の推移	年度		31 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予 算	計 画
	① 直接事業費(千円)				2,813	643	6,440	2,770
	財源内訳	国 県 支 出 金			1,426	0	2,800	1,000
		地 方 債			0	0	0	
		そ の 他			0	0	0	
		一 般 財 源	0	0	1,387	643	3,640	1,770
	②従事職員給与費 b1×b2		0	0	1,721	1,686	1,706	1,706
	従事職員数(人) b1		0.00	0.00	0.23	0.23	0.23	0
	職員平均人件費 b2		7,530	7,563	7,482	7,331	7,418	7,418
事業費合計 ① + ②		0	0	4,534	2,329	8,146	4,476	

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 本市内においては、域外企業がサテライトオフィスとして進出し、または場所を選ばない働き方を実施するための施設整備が十分とは言えない一方、コロナ禍が落ち着き、テレワーク等の流行も一部落ち着きつつある。	判定 B
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 デジタル田園都市国家構想交付金を活用する事業の為、市以外の実施は不可能	A
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 デジタル田園都市国家構想交付金の目的に沿った制度設計を行っており、対象としては適切である。	A
	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか （成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成）	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 令和3年度については市内に新施設が開設したが、令和4年度については企業の進出が取りやめとなり、新規開設には至らなかった。	B
有効性	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 都市圏への出張の際などに進出可能性のある企業へ情報提供を行ったり、職員の人脈を生かした周知活動を行っている。	A
	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか （活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成）	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 出張や企業訪問の際に資料を持参し、可能な限り多くの企業へ制度周知を図っている。	A
効率性	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 現行以上の手法はない	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 国の交付金を活用して、市から事業者へ直接補助するもので、他に介在する組織等はない。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 補助は申請に基づき事業者に対して実施される者であり対象に偏りが出る性質のものではない。また、採択事業者は経費に対する相応の投資を行っている。	A
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	A
判定評点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			2.80

◎ 総合自己評価（所管部署）	
評価結果	☐ A 継続実施（特段の見直しは行わない） ☐ B 改善・見直しを行う ☐ B1 事業規模の拡充 ☐ B2 事業規模の縮小 ☒ B3 事業内容の改善・見直し ☐ B4 その他の見直し ☐ C 休止（隔年実施などへの変更） ☐ D 廃止（終期の設定等を含む） 判断理由 本事業は、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、本市におけるサテライトオフィスの設置やテレワークなどの自由な働き方ができる場所の整備を行うことを目的としており、働く場所が多様化している現在の労働環境において、今後も制度そのものは必要であり、継続すべきものと思われる。 しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かい、企業におけるテレワークへの取り組みが落ち着きつつある今、情勢に合わせた制度の改善について検討を行う必要がある。
今後の課題及び改善策、見直しの状況	（実施上の課題等） 令和5年度のデジタル田園都市国家構想交付金の申請において、過去に設定したKPIの早期の達成が必要条件として設定されたことから、今後はさらに交付金の採択が難しくなってくることが予想されることから、他の交付金の活用も併せて検討が必要。
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し（改革・改善、終期の設定など）を行っている場合は、その内容についても記載してください。	

【2次評価】

総合判定	B2見直しのうえで実施 ⇒ 事業規模を縮小
備考	緊急事態宣言解除後にリモートワークやテレワーク等への取り組みが鈍化している状況にあり、企業の誘致に苦慮されている。補助金の活用が困難になる場合は、事業の縮小及び廃止等の検討をお願いしたい。

【3次評価】

総合判定	B2見直しのうえで実施 ⇒ 事業規模を縮小
備考	事業を縮小しつつも質を改善していくことが必要であり、今後は少しターゲットを絞りながら、どういう風に使って欲しいかということをしっかり周知をしながら取り組んでいただきたい。

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① ☒ 事業費縮減（事業の見直し）	③ ☐ 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② ☐ 民間委託等によるコストの縮減	④ ☐ 事務の効率化による現状維持（事業内容の拡充）	-3,670（千円）